

東京清掃労働組合

一組総支部通信

一組総支部
事務局
一組本庁支部内
fax6238-0504
tel6238-0502
e-mail
seisou-ichkumi
@w7.dion.ne.jp

執行委員長
細貝秀夫
教宣部長
奈良有記
教宣担当
福田雄一

一組当局に民間委託反対要請行動を実施



外部委託計画の見直しを求める!

2009

経営改革プラン アウトソーシング推進 計画に 対し

2010年、5月19日
午後17時より、区政会館にて、一組当局の経営改革プラン外部委託計画について反対する一組総支部各支部参加の要請行動が実施された。

内山書記次長の進行により、最初に本部を代表して、吉田副委員長より、「二組におけるアウトソーシングに反対する決意、清掃本部総体の取り組みとしても必要不可欠の問題でもある、死亡事故や労働災害が多発する状況を含め、早急に対応していかねばならない」との挨拶を受けた。

次に、細貝一組委員長より、「一刻も早く、委託攻撃を跳ね返し、完全直営で清掃工場の本来の安定した役割をはたすべきであり、責任ある一組当局の清掃工場の運営で、人員確保、組織充実を要求していかう」と挨拶。

昨年、3月に一組当局から示された「経営改革プラン2009」により、これまでの7工場に加え、今年度から新たに港、千歳清掃工場の運転管理業務等が外部委託となった。これで21ある清掃工場の内、半分近くの9工場が委託となったことになる。

このプランでは、さらに来年度も、1工場の委託化が計画されている。

この間、我々は、現在の委託が如何に不合理で、技術的な面でも問題があり、安全で安心な清掃工場の運営には馴染まないことを繰り返し訴えてきた。しかし一組当局の説明では、「委託計画は問題もなく、順調に推移している」と言うのみで、現場の実態を全く理解しようとしていない。



本部吉田副委員長

要請行動では、一組当局に対し、山下副委員長より、経営改革プラン2009外部委託計画に対する見直しを求める要請を行い、各支部代表の委託反対決意表明が行われた。駒井副委員長より決意文の読み上げを受け、要請後、小久保一組総支部組織部長より挨拶、中里一組書記長から諸問題についての報告、西村一組総支部現業部長の団結カンパニーで終了した。

私達、東京二十三区の清掃事務組合で働く職員は、東京23区民の生活環境の保全と資源循環型社会の推進を図るため、23区域から排出されるごみの処理に責任を持ち、本庁及び一組が管理する清



細貝一組総支部委員長

掃工場、不燃・粗大ごみ処理施設、灰溶融処理施設等において、日々全力で業務に取り組んでおります。

さて、昨年の3月末、私たち一組総支部に対し、「経営改革プラン2009」が一組当局から示され、平成22年度に1箇所程度、翌23年度に1箇所程度の清掃工場民間委託の計画の実施が明らかになりました。

私たちの強い危惧と反対にも拘らず、この改革プランに基づき、同年9月には港、千歳清掃工場の民間委託提案が行われました。私たちは組織の総力を挙げてこの委託提案に対し、清掃本部の全面的な協力を得ながら、プランの抜本的な修正と撤回を求めた取り組みを行ったもので

外部委託計画に反対する決意文

当局は、現場の真剣な訴えを真摯に受け入れるべきである。我々の忠告を無視した結果、昨年9月5日に品川清掃工場において、委託されている灰溶融施設で大変痛ましい死亡事故が発生した。劣悪な労働環境のもと、

当局は、現場の真剣な訴えを真摯に受け入れるべきである。我々の忠告を無視した結果、昨年9月5日に品川清掃工場において、委託されている灰溶融施設で大変痛ましい死亡事故が発生した。劣悪な労働環境のもと、

低賃金で働かされている委託労働者の職場定着率が低いことが原因であり、常に人材が入れ替わることに伴う経験と知識不足が危険性を増加させている。そして今回の事故は、人材派遣労働者の立場の弱さを明らかにする結果になったと言える。このよ

から、現場の職員に作業をさせていて本当に良いのだろうか。

一組当局のコンプライアンスに対する考え方はとも理解できない。我々は今後も、多くの問題を抱える清掃工場の委託化を、何が何でも阻止しなければならない。

委託化はコスト的にも決して安いものではない。利益優先の民間企業に業務を委ねたら、コスト削減どころかむしろ増加することが懸念される。

一組改革プラン2009でも、委託化により赤字が発生することが明らかになった。

委託化が進むにつれて住民からの直接的な苦情も多くなっている。ごみの中間処理施設である清掃工場の運営には、安全で安心できる安定的な稼働が望まれる。住民に対する適切な接遇や、複雑なプラント設備の安全な操作を維持するには、職場に対する愛着心と確かな知識と経験に裏づけされた能力が必要である。

このまま委託が進むことになれば、これまで我々が長年に亘り努力して築き上げてきた区民との信頼関係も損ないかねない。

うな状態を回避するためには、直営職員によるホローが必要不可欠であり、委託社員との共同作業を余儀なくされる違法行為が続いている。

法を遵守しなければならぬ公共の機関がこの様な違法な状態を知りながら、現場の職員に作業をさせていて本当に良いのだろうか。

一組当局のコンプライアンスに対する考え方はとも理解できない。我々は今後も、多くの問題を抱える清掃工場の委託化を、何が何でも阻止しなければならない。

我々はこの間、一組当局に対する要請行動をはじめとする、専門委員会交渉、解明交渉等を繰り返し行ってきた。

職場でも各所属長に同様の要請をし、工場の民間委託に対して反対の立場を明らかにするとともに、委託計画の撤回を求め、委託計画の見直しを強く望むものである。

たとえ一組当局が、我々の切実な要望に聞く耳を持たないという態度を今後も続けたとしても、決して諦めることなく、組織の総力を挙げて闘い抜くことをここに決意する。

私達、東京二十三区の清掃事務組合で働く職員は、東京23区民の生活環境の保全と資源循環型社会の推進を図るため、23区域から排出されるごみの処理に責任を持ち、本庁及び一組が管理する清

私達、東京二十三区の清掃事務組合で働く職員は、東京23区民の生活環境の保全と資源循環型社会の推進を図るため、23区域から排出されるごみの処理に責任を持ち、本庁及び一組が管理する清

この改革プランにより新たな清掃工場の委託提案が行われる計画だという事です。私たち自身一組当局に対し、敢えて「組織の総力を挙げた取り組み」をしたい訳もありません。日々の業務に精励し、当局との安定的な労使関係を通じた一組の発展に寄与したいと願うのみです。「経営改革プラン2009」

この状態が、朝夕に当たり前のようになり、慣行されるのだ。心労がよくわかる。埋め立て案は、すぐに暗礁に乗り上げる。沖縄海洋博で懲りたではないか。平和維持の為に必要であることは明確である。今こそ、与野党、住民の意向で早期解決を。

私達、東京二十三区の清掃事務組合で働く職員は、東京23区民の生活環境の保全と資源循環型社会の推進を図るため、23区域から排出されるごみの処理に責任を持ち、本庁及び一組が管理する清

私達、東京二十三区の清掃事務組合で働く職員は、東京23区民の生活環境の保全と資源循環型社会の推進を図るため、23区域から排出されるごみの処理に責任を持ち、本庁及び一組が管理する清

009にあるように、柔軟な改革プランの見直しを行い、今年度は、新たな清掃工場の民間委託提案を行わないよう、強く望みます。

その上で、改めてこの改革プランの重点施策の一つである、「アウトソーシングの推進」について、何点かに亘り申し上げさせていただきます。

まず、清掃工場に民間活力なるものを導入する事の意義についてです。

この点は、昨年の港、千歳清掃工場の民間委託提案に係わり、専門委員会の場でも大きな議論になりました。私たちは、「一工場の一定部門を民間に委託するのは、経費削減以外の理由は存在しない」と申し上げました。

普天間基地問題は、いよいよ最終局面の時期となり、民主政権の決断が迫られる。連日の配備機、ヘリコプター訓練の爆音の中、生活する地元の方々の心を察するに、当方の居住上空にも年に数回、厚木基地から横田基地へ巡回して飛行する輸送機や軍用ヘリのものすごい爆音と振動に驚く。

この状態が、朝夕に当たり前のようになり、慣行されるのだ。心労がよくわかる。埋め立て案は、すぐに暗礁に乗り上げる。沖縄海洋博で懲りたではないか。平和維持の為に必要であることは明確である。今こそ、与野党、住民の意向で早期解決を。

活動予定と日程

- 5月24日 一組総支部親睦交流ボウリング大会
 - 5月26日 一組総支部執行委員会
 - 28日 一組総支部支部委員会
 - 17日 一組総支部常任執行委員会
 - 6月5、6、7日 日本本部組織集會開催
- 主な取り組み
文化厚生生活活動の推進、ボウリング大会の実施、当面の組織対策、安全衛生課題、職員互助会、アウトソーシング対策 組織集會議論

えんとつ